

# 環境経営

## 栗本環境基本方針

私たちは全ての事業活動において、水と大気と生命(いのち)の惑星、地球の環境にこだわったモノづくりに励みます。

### ■ 環境経営および 継続的な環境保全活動の推進

環境への配慮を企業経営に統合する環境経営という考え方に基づいて取り組みます。

クリモトグループに環境マネジメントシステムを展開することにより環境保全活動の継続的改善をはかります。また、クリモトグループの地球環境保全活動に取り組むために環境委員会を機能的に運営し、環境マネジメントシステムの効果的な運用をはかります。

### ■ 法律、規則、協定、行動計画等の順守 および環境リスクの排除

環境基本法、環境関連規則、関連行政機関や各種団体・企業との協定および自主行動計画等を順守し、環境汚染防止、環境リスクの排除に努めます。

### ■ 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクルにより環境負荷低減の推進

生産活動において不良・仕損等を排除して省エネルギー、省資源活動を推進するとともに、廃棄物の削減と有効利用およびリサイクルにより環境負荷低減の推進に取り組みます。

### ■ 環境負荷低減型製品への移行推進 および環境保全機器設備の開発

全製品の原材料調達、生産、流通、使用、廃棄の各段階で環境に対する負荷を最小限にするように配慮します。また、環境保全が可能な機器設備の開発・普及・導入を積極的に推進します。

### ■ 全従業員の環境教育、啓発

環境教育、社内外広報活動を実施し、全従業員の環境への理解と環境問題への意識向上をはかります。

### ■ 社会貢献活動への参加の促進

より良い地球環境の実現をめざし、市民として社会貢献活動への参画・支援に積極的に取り組み、ステークホルダーと環境コミュニケーションをはかります。

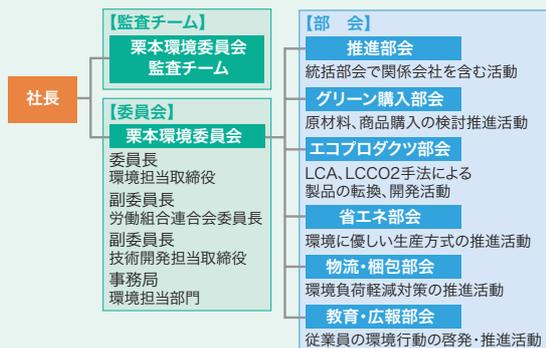
## 栗本環境委員会

私たちは、事業活動において環境への配慮を経営の重要課題のひとつとして捉え、環境担当取締役を委員長とする栗本環境委員会を1998年4月に設置しました。

この委員会は、栗本環境基本方針のもと、事業部・事業所を横断的に結び、地球環境保全活動の推進、環境負荷低減の推進と環境保全機器設備の開発を効果的に行い、持続的発展が可能な社会の構築に貢献することを目的としています。

### 環境委員会組織図

この組織は、審議機関として環境委員会があり、その下部に実行部門として環境部会を設置し、環境自主行動計画を策定して鋭意推進します。また、特徴のひとつとして組織全体を自己チェックするための環境委員会監査チームを委員会と並列して持つことがあげられます。



## ISO14001 (環境) の取得状況

登録組織	認証	登録日	登録範囲
栗本鐵工所	○	1999.12.3	堺工場、クリモト・トレーディング、栗本物流
	○	2002.2.10	加賀屋工場、ピー・エス・ティ
	○	1998.3.27	工場として認証
	○	1998.3.20	工場
	○	2001.9.20	交野工場、古河工場
栗本建設工業	○	2007.7.21	本支店、現場
栗本商事	○	2004.3.26	本社、東京支店、堺事業所
栗本化成工業	○	2001.11.30	湖東工場、滋賀工場、全事業所
栗本橋梁エンジニアリング	○	1998.3.20	工場

上記、加賀屋工場、ピー・エス・ティの登録日は、2002.2.10ではなく、正しくは2000.2.10です。

## 「環境月間」の取り組みについて

### ■ 環境月間ポスターの掲示

各事業場に環境省のポスターを送付して、期間中に掲示しました。

### ■ CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーンの参加

環境省では、2003年より温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の電気を消すよう呼びかける「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」を実施しています。

日常生活の中で温暖化対策を実践する動機付けを与えていくことを目的としたイベントです。

下記の事項を月間中に実施しました。

#### (1) 週末の一日を全社ノー残業デーとしてライトダウンに取り組みました。

ノー残業デーを設定し照明やエアコン等を停止することにより、CO<sub>2</sub>の削減をはかることを目的としています。

#### (2) 夏至の日の夜8時から2時間、全社のライトアップ施設や各家庭の明かりを一斉に消灯するようにお願いしました。

各事業場のライトアップ施設照明(工場内の照明等)を消灯しました。各家庭の消灯等のご協力をお願いしました。

### ■ エコドライブの実践

社有車および各家庭の自家用車のエコドライブを実践することにより、車から排出される大気汚染物質およびCO<sub>2</sub>の削減をはかっています。

不要なアイドリングストップ、加減速の少ない運転、夏でのカーエアコンの高めの設定、適正なタイヤの空気圧、エンジンブレーキの積極的使用等で燃料の消費が減り、CO<sub>2</sub>削減につながります。エコドライブの実践に取り組むよう従業員へ協力要請を行いました。

### ■ 各事業所独自の取り組み

- (1) クールビズの対応
- (2) パソコンの省エネモードの設定/休み時間のパソコン電源OFF
- (3) エレベーター使用の削減(階段使用励行)
- (4) 各事業場周辺道路のクリーン作戦等

## 環境社会検定試験(エコ検定)合格への取り組み

「環境」に対する幅広い知識を持って社会の中で率先して環境問題に取り組む人材、さらに環境と経済を両立させた持続可能な社会をめざす人材を確保するためにエコ検定合格を推進しています。現在までに11名の合格者を出しています。単年度5名以上、3年間で15名以上の合格を目標に合格者を増やす勉強会の取り組みをしています。

## グリーン購入の推進

原材料、購入品等を調達する際、環境に配慮したグリーン購入に努めています。企業の環境経営・商品開発を促進するためにグリーン購入ネットワークの情報等を入手して購入します。

